

(禁無断転載)



繊維版・日刊(土・日・休日休刊)
購読料年間 63,000円(税込)



大松株式会社

京都・東京・札幌

☎(075)223-1111

2007年 11月16日(金曜日)
(平成19年)

レーダー

時流に迎合しない京の老舗

CSR(コーポレート・ソーシャル・レスポンスビリティ)、企業の社会的責任が盛んに言われているが、業歴100年を超える企業の社訓や社是にCSRと同意、同義語が数多く内包されている——。成岡秀夫(株)成岡マネジメントオフィス代表は話す。

先週、市内のホテルで「永続する老舗企業のブランド戦略」と題し、講演した成岡氏は「京都には江戸時代から脈々と受け継がれてきた経営理念が今も生き続けている企業が非常に多い」と話し、その背景として①京都が1000余年にわたり首都として存在②宮家や貴族など、日本文化の発展を牽引③量より質の競争④質の競争から個性を磨く、といった要因があると指摘。

つまり、長年京都が首都として存在し、多くの人たちが集まり、生活する中で大量消費が行われる一方、常に高い水準の商品、サービスが求められ、職人の技術向上が図られてきた、と成岡氏は分析する。

江戸中期に京都で活躍した思想家の石田梅岩(1685~1744年)は、「石田心学」という書物を記し、その中で「売り手任せ、買いての幸こそ商いの本意」「道に背いた才知発明、道ならぬ金銀は、みな、こ

れ非」「農工商にては、他人のもの言うに及ばず、親兄弟のものにも、毛筋ほどかすめるある者は不義者なり」「他人に隠すことある者は、たとい一銭、二銭、五厘のことにてても不義なり」など、商人としてだけでなく、人としての生き方の心得に至る精神を説いている。

こうしたバググランドの中で日々の経営活動が磨かれ、好不況の整理淘汰を経た後、今日なお現存している企業が“老舗”と呼ばれる。とらや(和菓子、西暦750年創業)、すぐきや六郎兵衛(佃煮・漬物、同1000年)、通圓(茶製造販売、1160年)、一久(京料理、1469年)、千總(呉服卸、1555年)、ゑり善(呉服小売、1584年)など、他の地区を圧倒する数の老舗企業が京都には存在し、創業当時ののれん(業態)を守り続けている。

政官業の癒着から消費期限や産地などの食品偽装、全国展開する英会話学校に至るまで、企業の不祥事、背信、背任行為事件が後を絶たない。こうした時こそ規模の大きさや宣伝上手といった時流に流されず、逆にそうした流行に迎合しない京都の老舗企業に学ぶ点が多いかもしれない。

今日の記事

決算(コナカ).....2	(兵庫)大誠装備(株).....5
(栃木)(有)ジュッキヘルツ・プロジェクト.....3	(新潟)鈴倉インダストリー(株).....5
(兵庫)(株)ニューワールド.....3	業界ニュース(井筒屋).....6
(岐阜)サンアッド(株).....4	法律のツボ Vol.2.....9
(愛知)(有)夏目宝石店.....5	(東京)(株)チョコマート.....10



株式会社 信用交換所京都本社

〒604-0002 京都市中京区室町通夷川上ル鏡屋町25
WWW.joho-kyoto.or.jp/~ce-kyoto

TEL(075)221-7281
FAX(075)222-0036